

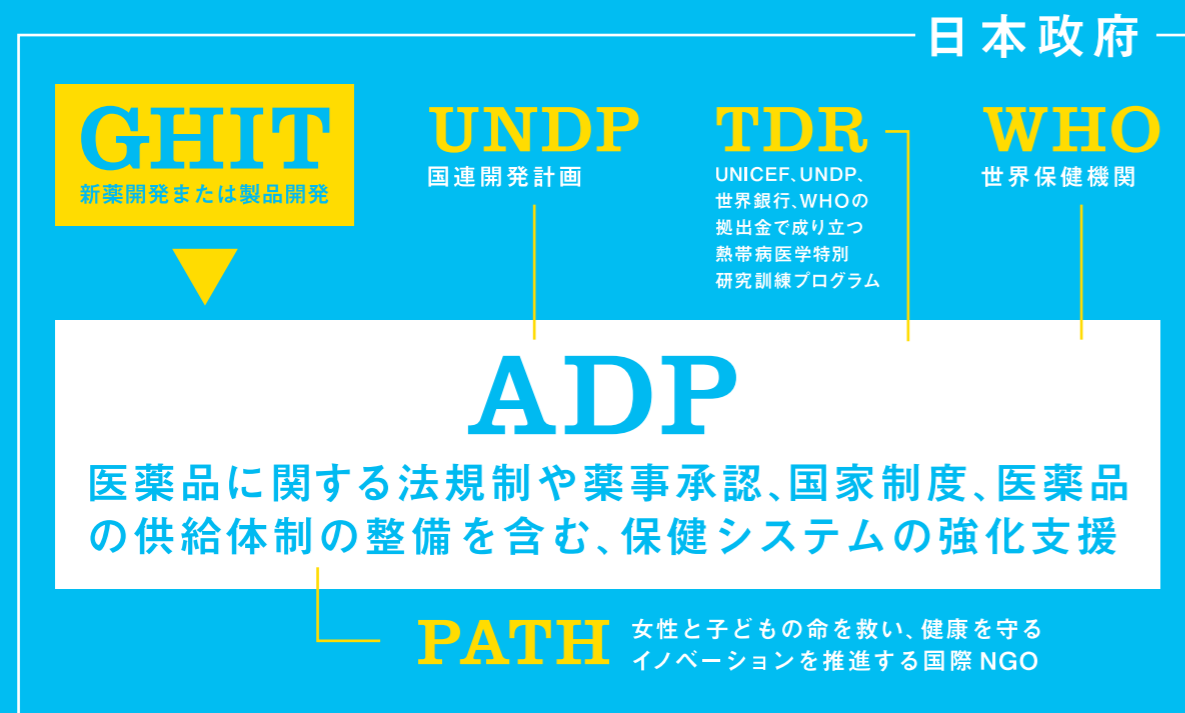
● ADPは、2023年までに  
プロジェクト重点対象国を軸に、拡大展開していきます。

プロジェクト重点国

<p><b>ガーナ</b> (Ghana)</p>	<p>ADPは、ガーナ保健省と連携し、新しい医療技術を迅速かつ効果的に患者に提供するため、国家薬事政策の立案を支援しました。 さらに、医療・保健環境の問題点を調査する研究者の能力強化を行いました。</p>
<p><b>タンザニア</b> (Tanzania)</p>	<p>ADPは、住血吸虫症の薬の提供を行ったほか、5000万人に対し、NTDs 予防薬の集団投薬キャンペーンを支援しました。 また、医療従事者の研修の実施や、研修用教材の作成を行いました。</p>
<p><b>インドネシア</b> (Indonesia)</p>	<p>ADPは、3万2千人を超える多剤耐性結核（MDR-TB）患者に対する治療の取り組みの一環として、新たな治療薬の導入を支援しました。 また、保健省と連携し、最も費用対効果の高い医療技術を導入できるよう、医療技術の評価手法を試験的に導入しました。</p>
<p>南南協力推進国・機関</p>	
<p><b>タイ</b> (Thailand)</p>	<p>ADPは、タイを南南協力における技術支援パートナーとしています。 タイの政策立案者と技術専門家の知見を生かし、他の低・中所得国が医療課題の優先順位を設定する際の指針を与え、国家の能力を向上させる支援をしています。 たとえば、インドネシアとタンザニアにおいて、患者が費用効率のよい医療技術へアクセスできるよう、政策・法律環境の整備に協力しています。 このようなADPの活動を通して、日本政府も南南協力関係を推進しています。</p>
<p><b>アフリカ連合</b> (AU)</p>	<p>アフリカ連合（AU）は、医療規制の法律の雛形となる「薬事規制の規範法（通称：AUモデル法）」を策定しました。これは薬やワクチン、診断法の認可や、製造、販売、品質管理などについて規制する法律の見本となります。 今後、各国で導入が進めば、医薬品に手が届きやすくなり、医療費削減と健康改善への効果が期待できます。 ADPは、AUによるこの法律の策定およびアフリカ各国への導入を支援しています。</p>

あなたが時代遅れと  
思っている病気で、  
12億人が  
苦しんでいる。

● ADPを構成するパートナー



ADPについて、さらに詳しくは、下記にお問い合わせください。

国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所  
公式サイト：www.jp.undp.org  
Email: registry.jp@undp.org

**ADP**   
THE ACCESS AND DELIVERY PARTNERSHIP  
New Health Technologies for TB, Malaria and NTDs

結核、マラリア、  
顧みられない熱帯病を  
なくすためのパートナーシップ



# ADP(アクセスと提供に関するパートナーシップ)とは、結核、マラリア、<sup>かえり</sup>顧みられない熱帯病をなくすため、低・中所得国の患者が必要な医療を受けられるよう、国の保健システムを強化するUNDPの支援活動です。

## ● 約12億人の患者がいるこれらの病気に、世界は対応できていません。

結核は、世界で最も死者を多く出している感染症の一つです。

2017年に結核を発症した人は1千万人、死亡者数は160万人と推定されています。

マラリアは、エイズ、結核と並ぶ3大感染症の一つで、

2分に1人の子どもがマラリアによって命を落としています。

2017年の症例総数は2億1900万件、約43万5千人がマラリアによって死亡したと推定されます。

最も症例が多いのは、サハラ以南のアフリカに住む5歳以下の幼児です。

顧みられない熱帯病(NTDs)<sup>\*</sup>は、WHO(世界保健機関)が優先的な撲滅対象に

指定する20の疾患を指します。149カ国で10億人以上がNTDsの影響を受けており、

全ての感染症および寄生虫症の中で最も疾病負荷の高い病気の一つです。

※NTDs(=Neglected Tropical Diseases): デング熱、狂犬病、トラコーマ、ブルーリ潰瘍、フランベジア(イチゴ腫含)、ハンセン病、シャーガス病(アメリカトリパノソーマ)、アフリカトリパノソーマ(睡眠病)、リーシュマニア症、糸虫症・囊虫症、メジナ虫症(ギニア虫症)、エキノコックス症、食物媒介吸虫症、住血吸血症、土壌伝播蠕虫感染症、マイセトーマ、オンコセルカ症(河盲症)、リンパ系フィラリア症(象皮病)、疥癬、毒蛇咬傷。北里大学の<sup>\*</sup>大村智博士が予防・治療に功績を上げ、ノーベル賞を受賞したオンコセルカ症、リンパ系フィラリア症は、NTDsに含まれる病です。

## ● 原因は、貧困と病の悪循環。先進国のサポートが必要です。

結核、マラリア、顧みられない熱帯病(NTDs)は、主に貧困と不平等が生み出す病で、特に低・中所得国の貧困層や、社会から取り残された人々の間でまん延しています。ひとの命を奪う最悪の事態を招くだけでなく、重い症状が労働力や生産性の低下を招き、開発途上国や新興国が貧困から脱出できない一因になっています。

これらの感染症を治療するためには、途上国に適した新薬やワクチン、診断キットの導入が必要ですが、その研究開発は進んでいません。なぜならこれらの感染症は、先進国では患者が少なく、重大な影響を及ぼしていないために、先進国における研究開発の優先度が低いからです。こうした問題を受けて、結核、マラリア、NTDsの新薬などの研究開発を支援するための新しいパートナーシップとして、GHIT(グローバルヘルス技術振興基金)が設立されました。

しかし、有望な薬やワクチンが開発されても、途上国の患者が適切な医療を受け、自己負担できる金額で新薬を手に入れられるようにする必要があります。そこで、国全体の医療・保健制度を強化するために、ADP(アクセスと提供に関するパートナーシップ)が発足しました。すべてのひとが、適切な医療を、必要なときに負担可能な費用で受けられるよう、日本をはじめとする先進国のサポートが求められています。



## ● 日本政府は、この問題を解決するために、GHITとADPの両方を支援することで、新規医療が適切に患者に届けられるような抜本的なサポートを行っています。

結核、マラリア、NTDsのための  
医薬品の開発

低・中所得国における  
医療・保健システムの強化

# GHIT

# X ADP

# =

低・中所得国における  
結核、マラリア、  
NTDsの根絶



すべてのひとが、適切な医療を  
必要なときに負担可能な費用で  
受けられる世界へ(UHC)<sup>\*</sup>

GHITは、グローバルヘルスの新薬開発を推進する国際的な官民ファンドで、日本政府、製薬企業などの民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム・トラスト、国連開発計画(UNDP)が参画しています。日本の優れた科学・創薬技術と海外の資源やネットワークを結びつけたオープン・イノベーションによる新薬開発に投資を行い、革新的な治療薬、ワクチン、診断薬の創出を推進しています。

ADPは、低・中所得国の結核、マラリア、NTDsの患者に新しい薬やワクチン、診断キット等が迅速に届くよう、環境を整備し、医薬品へのアクセスを向上させるための支援活動です。医薬品の導入に必要な政策や法規制、国家機関の仕組み、また医薬品の供給体制を整備し、低・中所得国の能力向上を支援しています。また、各地域固有の環境に合わせて、新しい医薬品が適切な価格で迅速に患者に提供されるよう、各国の課題の優先順位をつける支援も行っています。

※新薬開発のためのGHITと、それを届けるためのADP。この両輪を支援するアプローチは、持続可能な開発目標(SDGs)の目標3(すべての人に健康と福祉を)に呼应し、「誰でも、どこでも、安価に必要な医療が受けられる」ことを目指す、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の実現、さらに2016年の伊勢志摩サミットで発表された国際保健の取り組みにもつながるものです。

